

事業戦略説明会

2023年度 経営課題

2023年 5月30日

富士電機株式会社

代表取締役社長COO

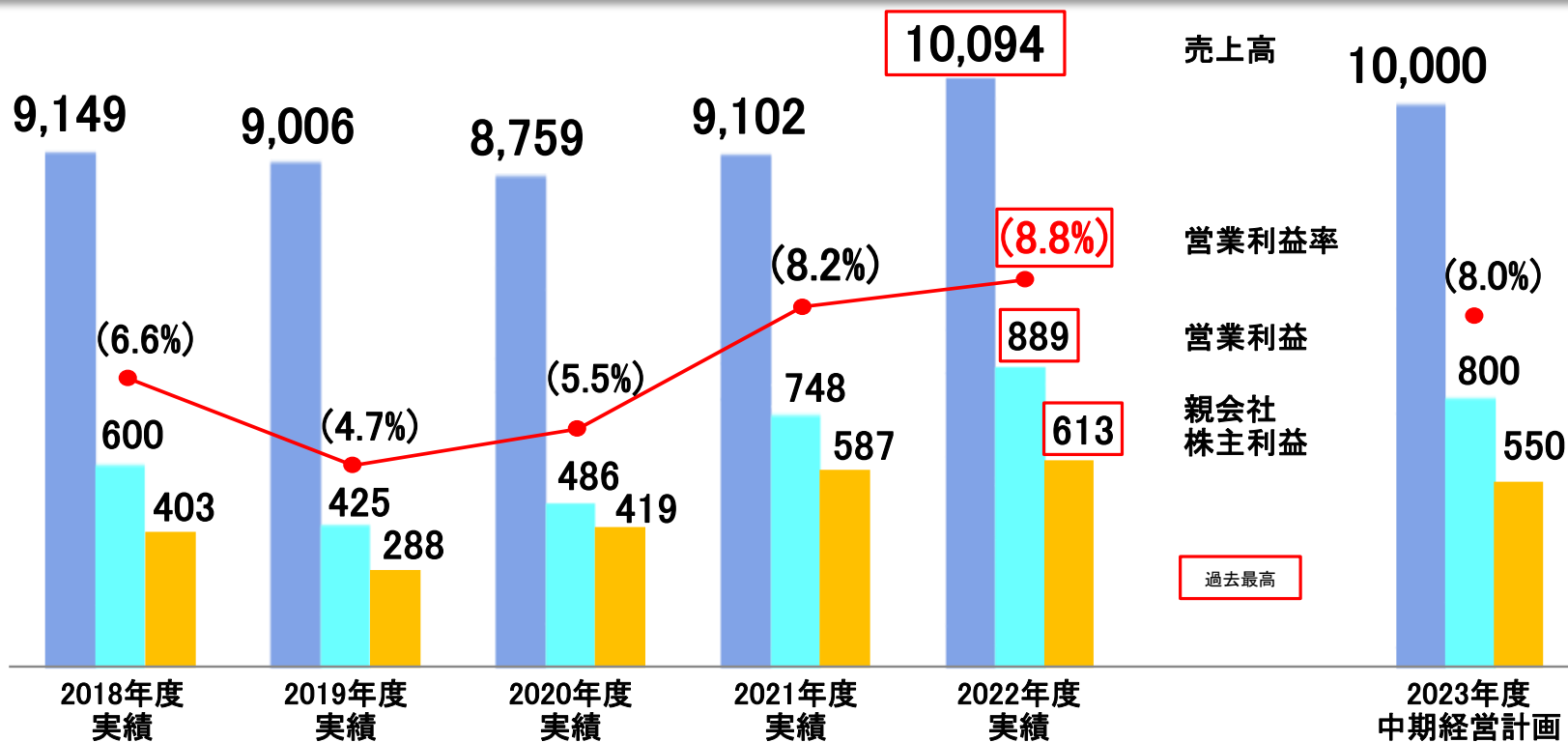
近藤 史郎

- 1. 現中期経営計画進捗** **P. 3**
- 2. 2023年度 経営課題** **P. 11**

1. 現中期経営計画進捗

2023年度中期経営計画目標を1年前倒しで達成
売上高、営業利益、営業利益率、純利益は過去最高を更新

(単位:億円)



自己資本比率	37%	37%	40%	42%	44%	50%
ROE	12%	8%	11%	13%	12%	11%
ROA	4%	3%	4%	5%	5%	5%
ネットD/Eレシオ	0.4倍	0.4倍	0.3倍	0.2倍	0.2倍	0.1倍

施策

成果(2022年度)

成長戦略の推進

- ・パワエレビジネスの拡大
(電気設備丸ごとビジネス、器具)
- ・半導体の生産能力増強投資
(前工程 8インチ、SiC)
- ・新製品売上の拡大

- ・電気設備丸ごとビジネス売上高 **約2倍** (対18年度比)
- ・半導体生産能力(8インチ) **4倍強** (対18年度末比)
- ・新製品売上高 **1.4倍** (18年度比)

海外事業の拡大

- ・M&A1件(インド)
- ・グローバル商材の投入

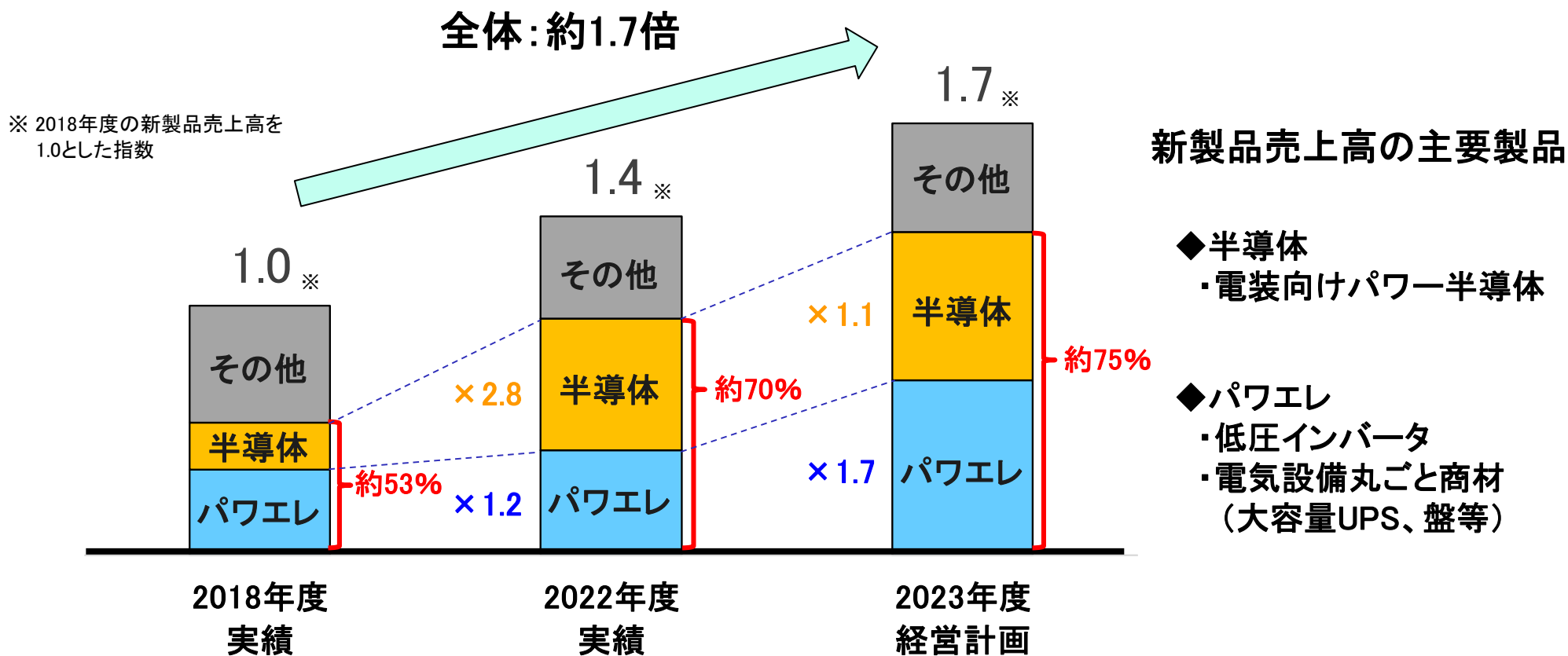
- ・海外売上高 **1.3倍** (18年度比)
- ・パワエレ インド向け売上高 **約5倍** (18年度比)

収益力の更なる強化

- ・構造改革の実行(器具、自販機)
- ・調達リスク対応の強化
(複数購買、地産地消、内製化)
- ・素材価格・動力費高騰に対応した
販売価格アップ

- ・全社営業利益率 **8.8%**達成

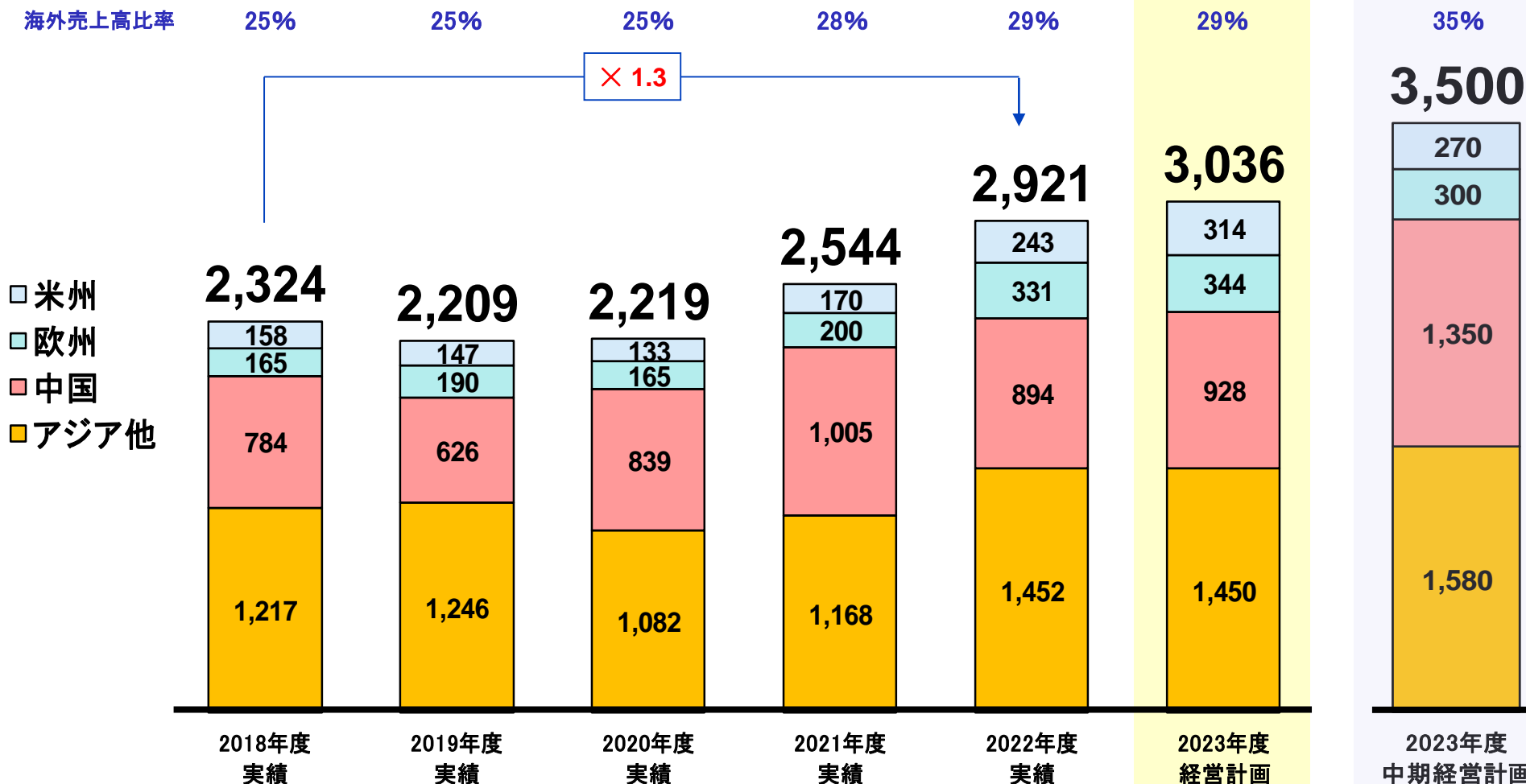
新製品の投入が、パワーレ・半導体の売上拡大に貢献



海外売上高(年度別推移)

海外売上高の拡大が課題

(単位: 億円)



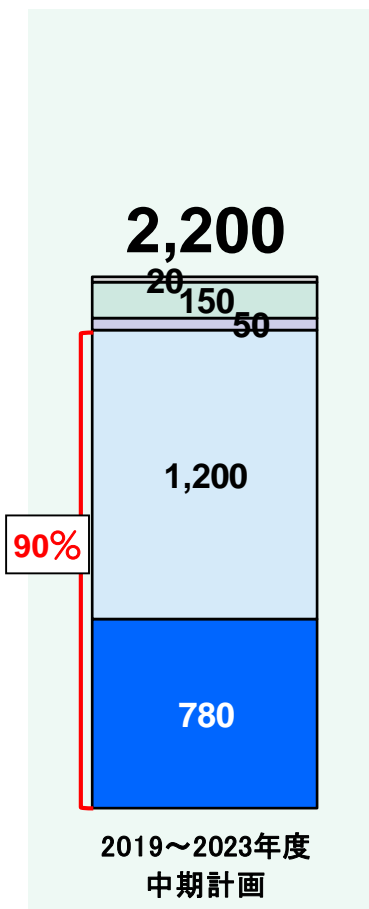
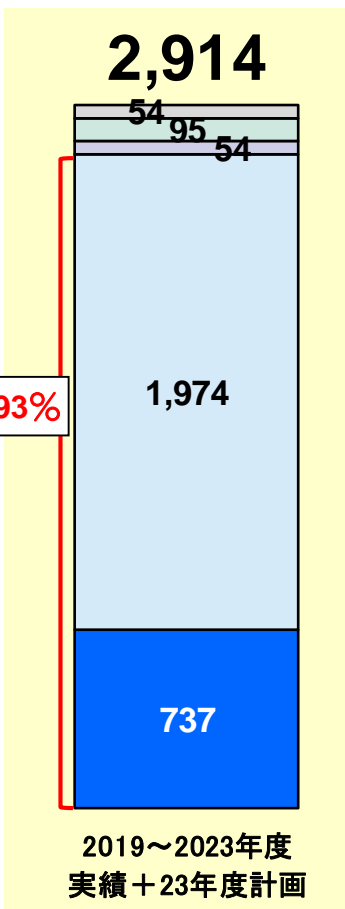
成長分野への集中投資を継続

設備投資

(単位: 億円)

パワエレ
半導体比率

- その他
- 食品流通
- 発電プラント
- 半導体
- パワエレ

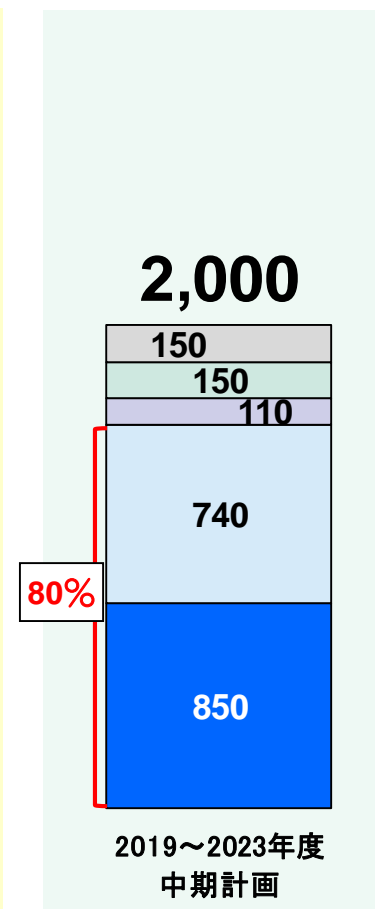
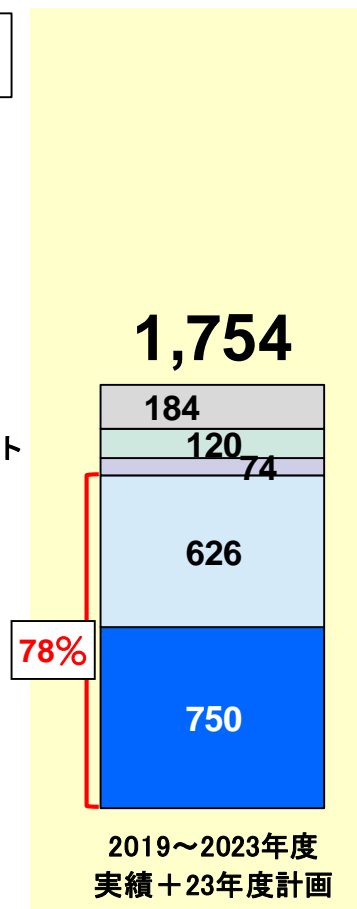


研究開発

(単位: 億円)

パワエレ
半導体比率

- 共通
- 食品流通
- 発電プラント
- 半導体
- パワエレ



※研究開発費をテーマに応じてセグメントに分類したもので、決算短信記載の数値とは異なります。

施策

実績(2022年度)

環境

- ・脱炭素社会の実現
- ・循環型社会の実現

- ・環境ビジョン2050
2030年度温室効果ガス排出削減目標値の改定(1.5°C水準)

	実績	2030年度目標
生産時のGHG排出量 平均削減年率	19~22年度 10%	~2030年度 4.2%
製品による社会のCO ₂ 削減貢献量	22年度 4,979万トン	5,900万トン超

- ・CDP「気候変動Aリスト」に4年連続選定／SBT認証取得

人財

- ・多様な人財の活躍推進
- ・働き方改革の推進、
ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・社員意識調査の継続実施

- ・女性役職者数 316名(18年度比1.4倍)
- ・男性育児休職取得率 21%(18年度比+18%)
- ・社員意識調査(会社満足度) 3.73点/5点(18年度比+0.05点)

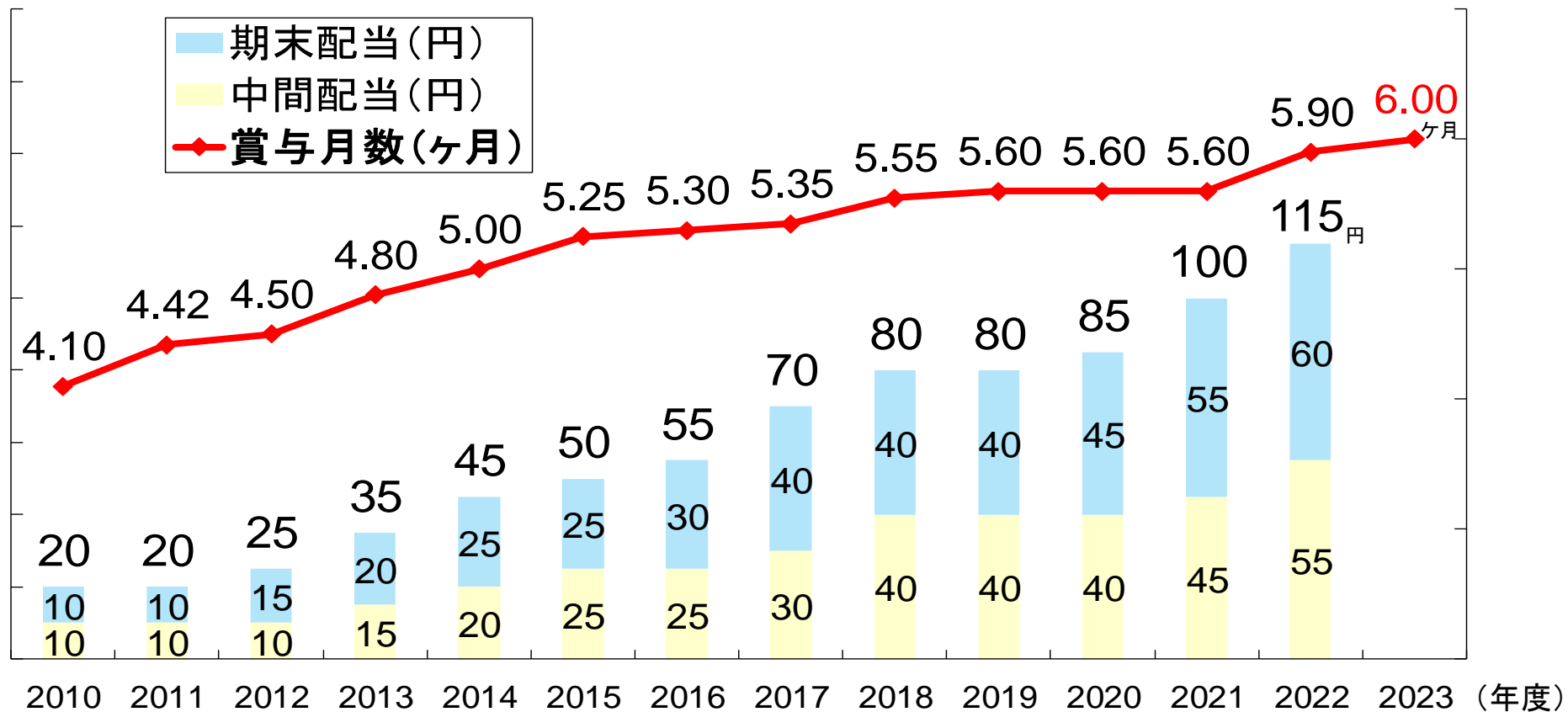
ガバナンス

- ・コーポレート・ガバナンスの実効性向上
- ・コンプライアンスの推進
- ・リスクマネジメントの強化

- ・取締役会実効性評価の継続実施と運営への反映
- ・女性社外取締役の選任(22年6月~)
- ・政策保有株式の削減 上場株式数 22年度末17銘柄
(18年度末比▲85銘柄)

配当・賞与の推移

継続的・安定的の方針の下、株主様に利益を還元
従業員ファーストに沿って利益還元、史上初の満額回答



配当性向	18.9	24.2	13.6	25.5	23.0	23.3	19.2	26.5	28.4	39.7	29.0	24.3	26.8	(%)
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----

※配当は 2018年10月1日の株式併合を考慮し算出

2. 2023年度 経営課題

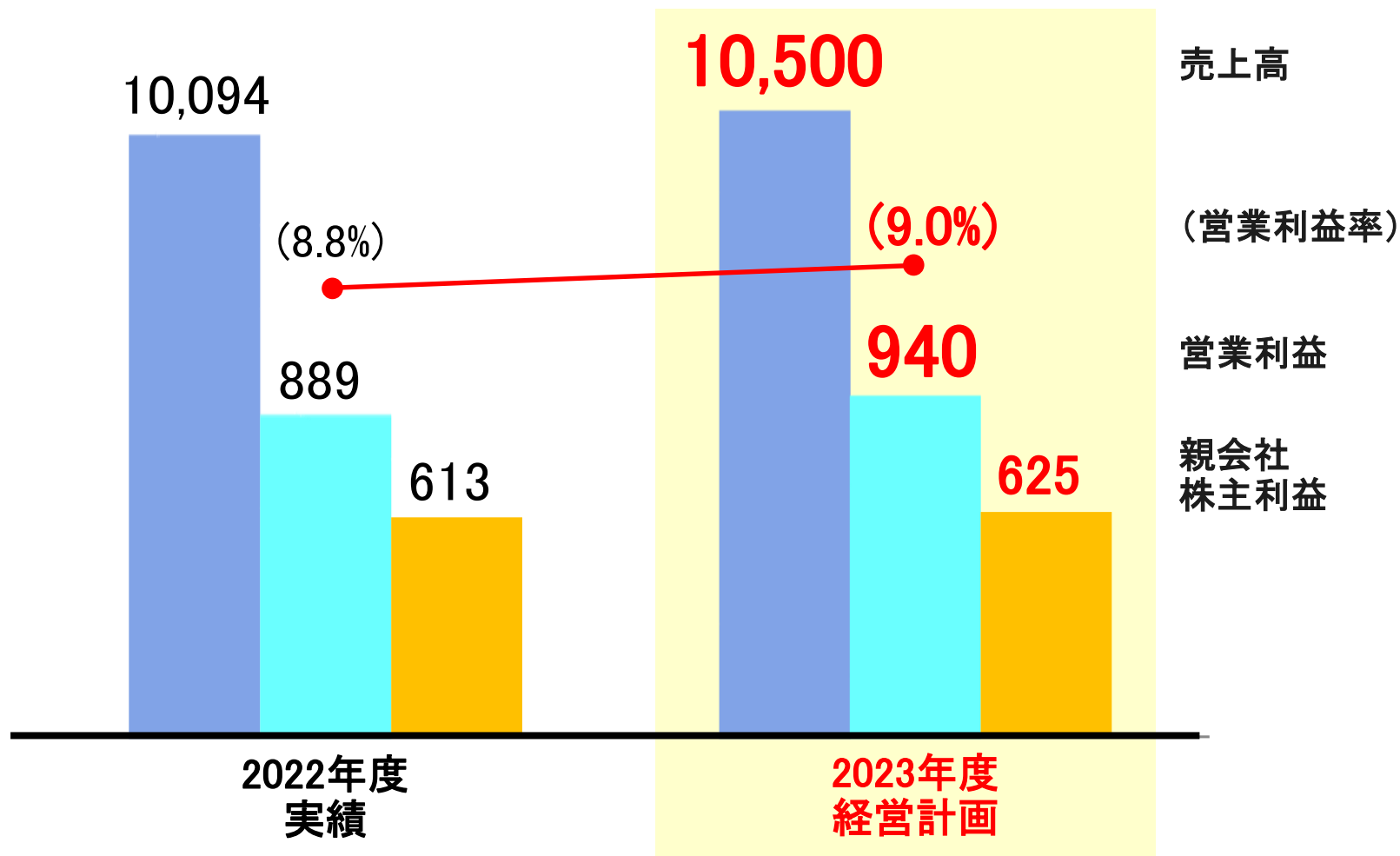
- **次期中期経営計画につながる
2023年度を仕上げる**
- **富士電機の新たな成長戦略を描く**
利益重視（営業利益、当期利益）
2030年ビジョン × 2023年度からの展望



次期中期：24年度～26年度の3カ年計画を策定

営業利益率9%以上を達成する

(単位:億円)



通期 セグメント別売上高・営業利益(対前年)

更なる収益力向上を目指す

(単位:億円)	2022年度 実績			2023年度 経営計画			増減		
	売上高	営業 利益	営業 利益率	売上高	営業 利益	営業 利益率	売上高	営業 利益	営業 利益率
パワエレ エネルギー	2,641	269	10.2%	2,750	270	9.8%	-22* 109	-6* 1	-0.4%
パワエレ インダストリー	3,534	249	7.0%	3,780	295	7.8%	-43* 246	-14* 46	0.8%
半導体	2,062	322	15.6%	2,210	328	14.8%	-55* 148	-35* 6	-0.8%
発電プラント	873	36	4.1%	830	42	5.1%	-43	6	1.0%
食品流通	953	44	4.6%	960	50	5.2%	7	6	0.6%
その他	598	37	6.3%	600	34	5.7%	2	-3	-0.6%
消去または全社	-567	-67	-	-630	-79	-	-63	-12	-
合計	10,094	889	8.8%	10,500	940	9.0%	-127* 406	-54* 51	0.1%

*為替影響

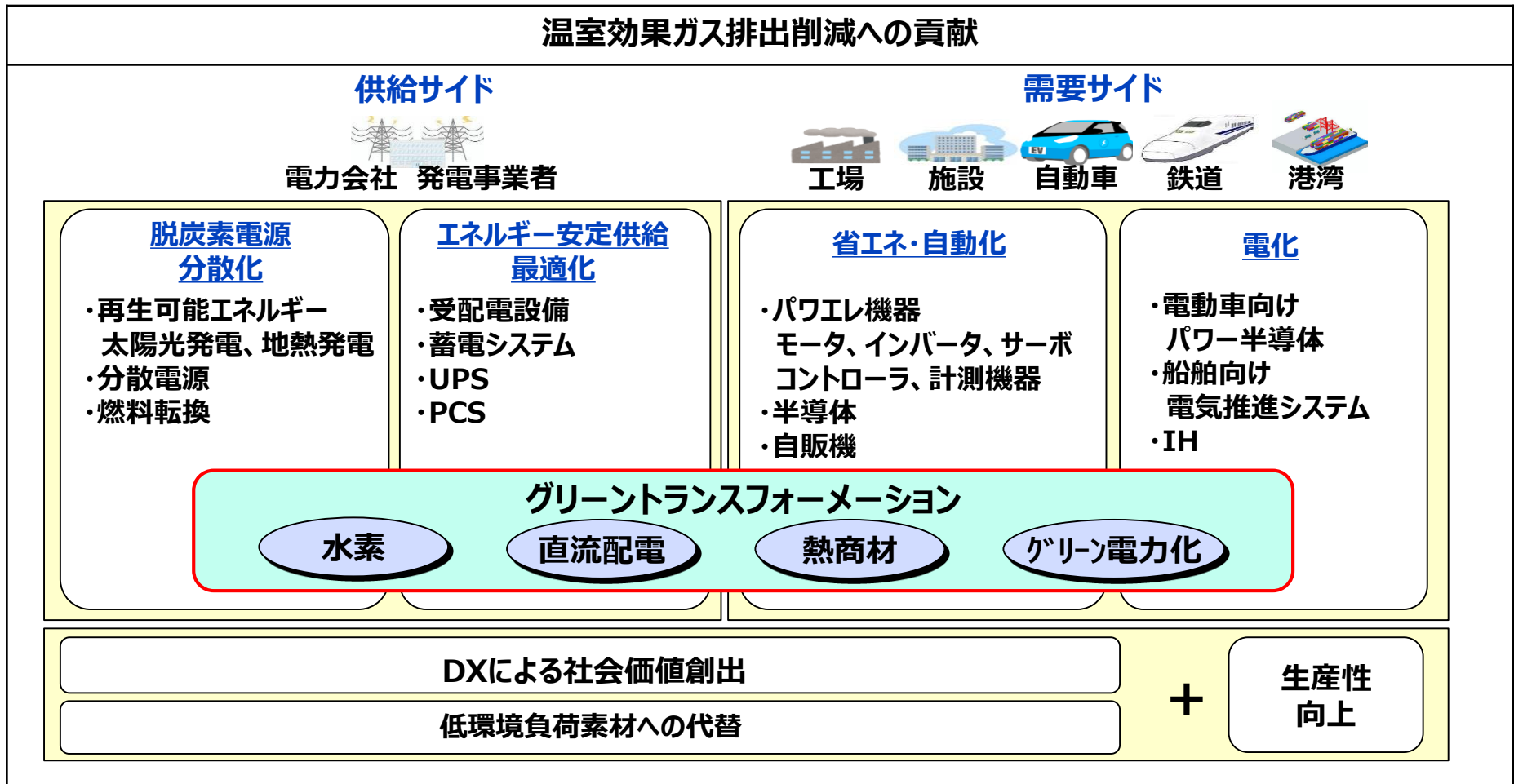
富士電機の新たな成長戦略を描く

利益重視（営業利益、当期利益）

2030年ビジョン × 2023年度からの展望

- エネルギー・環境技術の革新により、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献する
- 強いコンポーネントの創出
そのコンポーネントを活用したシステム
デジタル活用による新たな価値創出

パワエレとパワー半導体をコアに、 エネルギーと環境のフィールドで社会価値創出を目指す



成長戦略のフレームワーク

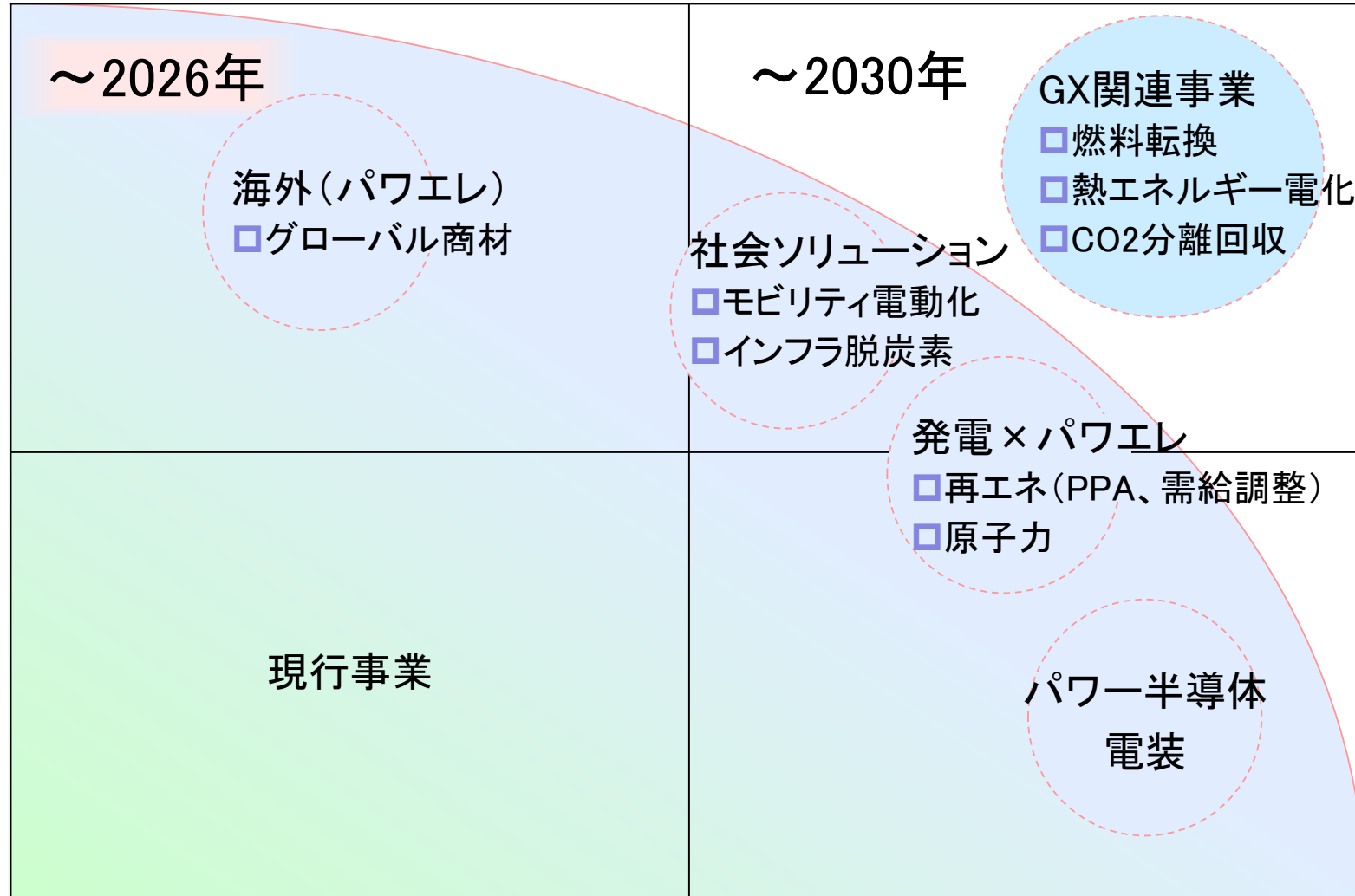
= 売上漸増領域

= 成長領域

新規・開拓領域

富士電機軸

既存領域



既存マーケット

マーケット軸

新規・拡大マーケット

変化への適応力

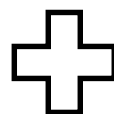
情報感度
変化の予兆



フラットでオープンな
議論



統率のとれた
チーム



2つの「そうぞう力」

Imagination & Creativity

想い描く

創り出す

1. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。